

— 渋谷の特性を活かした持続可能なまちづくりの方向性を共有 —

第3回「渋谷まちづくりフォーラム」を開催

2026年8月6日

一般社団法人渋谷再開発協会

一般社団法人渋谷再開発協会は、2026年7月13日に「第3回渋谷まちづくりフォーラム」を開催しました。本フォーラムは、これからのまちづくりに必要な技術や知識を共有し、歩いて楽しい魅力ある渋谷の未来像を共に考えることを目的としています。今回は「渋谷の特性を活かしたまちづくりの可能性」をテーマに、外部講師による講演、および当協会の長期ビジョン進捗状況の報告を行いました。

■ 当日のプログラムと概要

● 講演①:「迂回する経済からみた渋谷のまちづくり」

【講師】 東京大学 大学院 工学系研究科 講師 吉江 俊 氏

パブリックスペースやコミュニティの支援を通じて中長期的に街の価値を高める「迂回する経済」の重要性を提示。短期的な自己利益を追求する「直進する経済」との共存・両立が、持続可能な都市開発に不可欠であることを提言。

● 講演②:「Z世代の基本価値観と街体験」

【講師】 株式会社 SHIBUYA109 エンタテインメント 渋谷 109 ラボ コンサルタント 井上 渚 氏

Z世代の「体験消費」と「失敗したくない消費」のインサイトを紐解き、SNSでの追体験を意識した小エリア単位での世界観の編集や、歩きやすく居心地の良い街並みづくりの必要性を解説。

● 報告:「渋谷計画2040」の進捗とまち使い戦略

【報告者】 一般社団法人渋谷再開発協会

当協会が目指す「圧倒的ウォークアブルシティ」の実現に向け、渋谷駅 500m 圏内の歩行者優先の公共空間の実現および独自のカルチャーを育む「雑居感」を定義し、再開発エリアと雑居エリアが共存共栄するビジョンを報告。

【フォーラムの様子】



【参考】一般社団法人渋谷再開発協会 概要

1964年に前身の「渋谷再開発促進協議会」が設立され、1972年に現在の名称へ変更、2021年には一般社団法人化。渋谷駅周辺地域の将来像(ビジョン)を描き、長期的視点による都市再生の促進やまちに訪れる人々の活動のための場づくりを通して、職・住・遊における高い暮らしの質を実現し、「サステナブルな歩いて楽しいまちづくり」を推進。現在、約120 団体・企業が加盟して活動